

講座番号	519	体系区分	専門研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 教育相談<上級>講座Ⅰ ～子どもと保護者のこころに寄り添う～【領域①】 実施要項					
講座のねらい	教育相談に必要な専門的知識・技能の向上とともに、学校の教育相談機能を充実させる中心的な役割を果たすために、子どもの理解を深め、対応する力及びコーディネートする力の向上を図る。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ3 充実期（16年～24年） 観点：生徒指導 ・深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ・児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ステージ3 充実期（16年～24年） 観点：専門領域 ・深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ・児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、各職種の専門性を生かして積極的に対応できる。				
受講対象 定員	全教職員 80名				
日時	令和3年11月 5日（金） 13:00～17:00				
会場	各所属校（園）においてオンライン受講				
13:00	講義		講義題等	内 容	
	講	義	こころに寄り添うための関係性の見立てと対応—学校に居づらいうちの子どもたち—	・子どもや保護者のこころに寄り添うために必要な関係性の見立ての視点について学び、見立てに応じた関わり方について考える。	
			京都光華女子大学	教授 徳田 仁子	
14:30	演習		事例研究	・事例を通して、子どもや保護者と関わる姿勢について学ぶ。	
			京都光華女子大学	教授 徳田 仁子	
17:00					
※「領域」について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法					
その他	<受講方法> 講座実施日の1週間前を目処に電子メールにてお知らせします。 <受講報告> 受講終了後、「研修講座の受講報告」を作成し、管理職が取りまとめの上、PDF形式にて提出期限までに電子メールで提出してください。 提出期限：令和3年11月8日（月） 提出先等：教育相談部（ed-center-soudan@kyoto-be.ne.jp） 件名は「講座番号 学校名 氏名」（例：519 ○○市立△△小 京都 千太）としてください。 ・本講座には受講条件があります。詳細は「令和3年度 教職員研修計画」P.32「研修講座受講モデルプラン」を御参照ください。 ・担当部……教育相談部 TEL：075-612-2959				